

授業評価の目的は、授業の質を高めて教育の改善を図ることであり、その手段ないし方法として、本学では大学院でもマークシート式のアンケートと記述式のアンケートを併用しているところである。

小職にコメントが求められているのは、このうち、マークシート式のアンケートだけであるが、実のところこのコメントは、それほど簡単ではない。マークのスコアは継続して高い数値を維持しており、あえてコメントするとすれば、「素晴らしい」ということになるが、それで授業の質を高めて教育の改善を図るという目的を達成できるかと問われれば疑問というほかないからである。

しかし、だからと言って記述式のアンケート結果を公開し、それへのコメントをつけるのが適切かと問われれば、それも難しいところである。誰が書いているのかわからないコメントに管理職がコメントするということを適切に行うには、相当に高いスキルを要するというべきであり、小職にそのスキルが備わっているかといわれると、これも大いに疑問であるというほかないからである。

もちろん、万が一、マークのスコアが極端に低下するようなことがあれば、そのことは、本学の大学院の研究教育になにか大きな問題が生じているということを示唆するものであることは、疑いのないことであろう。そうすると、結局のところ、このコメントというのは、そのような極端なスコアの低下がないように管理職が每期注意を払うという点には意義があるということになりそうであり、小職は、今期はその役割を無事果たしたということになるろう。